



なかよし



稲積小学校 HP

※HPの学級のページも

ぜひご覧ください。

2025年12月25日 No.35

今日で2学期が終わりました。日々の学習での成長はもちろん、学習発表会やこども園交流などの行事などを経験し、大きく成長したように感じます。友達との仲も深まり、伸び伸びと過ごした2学期でした。3学期からの活躍もとても楽しみです。

保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。3学期も、よろしくお願いいたします。

《冬休みについて》

夏休み同様、学校からの課題はありません。長い休みになりますので、ご家庭で学習や生活に取り組むようにお願いします。

【学習】

国語：カタカナや習ったかん字を書く、読む練習など

カタカナの言葉を集めたり、習った漢字を使った文を作ったりするなどの学習をしておく、定着につながります。

冬休み明けには、漢字の25問テストもあります。

「かんじのまとめ」プリントも配付しましたので、ご活用ください。

算数：繰り上がりのあるたし算、ひき算が「はやく」「せいかくに」できるように練習する、文章問題に取り組むなど

道具箱に入っている計算カードを活用したり、文章問題にもチャレンジしたりすると、読む⇒理解する力につながります。

文章問題の時には、図をかいたり大事な言葉に線をひいたりするのも大切です。

【生活】

「ふゆやすみのくらし」を配付しています。早寝早起きなど生活リズムを崩さないような生活を心がけましょう。

【お手伝い】

生活科の学習でも、お手伝いに取り組みました。長い休みなので、毎日できる家の仕事(お手伝い)を決めて、継続して取り組めると良いと思います。

15日(木)

行事

始業式(4時間授業、給食あり)

8:25

こくご

かんじ

1

ぎょうじ

しぎょうしき

2

がっかつ

ふゆやすみのふりかえり

3

がっかつ

3学きのめあて

4

こくご

かん字25もんテスト

下校
時刻

13:05ごろ

しぎょうしきの もちもの

- ☐うわぐつ ☐たいいくぼうし
☐ぞうきん2まい、せんたくばさみ
☐ふでいれ ☐おてがみふぁいる
☐じゅうちょう ☐かりたほん2さつ
☐はんかち、ていっしゅ ☐ランチマット
☐きゅうしょくぶくろ(マスク)

お知らせとお願い

《学習用具について》

冬休み前に持ち帰った道具や、お道具箱の点検をお願いします。

- * 体育帽子～洗濯し、ゴムが伸びている場合は付け替えをお願いします。(フックにかける小さなゴムも点検を)
- * 鍵盤ハーモニカ～ホースは一度水で洗い、乾かしてください。(ガーゼやハンカチ等の洗濯もお願いします)
- * お道具箱の中身～のり、はさみ、クーピー、クレヨンなどの中身の確認や補充をお願いします。

《置く勉強について》

置く勉強にしていた教科書を持ち帰りました。冬休み明けにまた使いますので、ご家庭で保管をお願いします。

スキー学習について

＜実施予定日＞ 1月20日（火）に体育館でスキーの着脱の練習を行います。19日（月）までにスキー用具を学校に持ってきてください。外でのスキー学習と同様の服装で行いますので準備をお願いします。なお、始業式前日14日（水）の14：00～16：00もスキーの搬入が可能です。

＜持ち物＞ スキー板・ストック（ケースに入れて）スキー靴（ケースに入れて）
スキーウェア上下、スキー用の手袋（毛糸ではないもの）、
耳が隠れる帽子、必要があればネックウォーマー、
必要があればゴーグル

◎ 安全上の面から、服装が整わない場合はスキー学習に参加できません。校内で自習となります。

◎ 全ての道具に記名を忘れずをお願いします。

＜保管場所＞ 期間中はずっと学校で保管します。

・スキーとストック（ケースに入れて）＝ 体育館横のスキー置き場

・スキー靴（ケースに入れて）＝ 1年生の空き教室

◎ 土・日・祝日は、学校へのスキー用具の出し入れはできませんので、スキー用具の出し入れは、平日（16：40まで）をお願いします。

◎ 保護者の方がスキーケースとスキー靴ケースを持ってきた場合は、図書室前のブルーシートの上に置いてください。登校後、子どもが保管場所までケースを運びます。

◎ 金具の調整等については学校では対応できません。

◎ グラウンドでの1回目のスキー学習は1月29日（木）の予定です。

☆記名について☆

スキー、ストック、スキー靴、またそれをしめるケースは例年、まったく同じものを友達が使っていることがあります。全てのものに記名をお願いします。

スキーやスキー靴に直接記名するのに抵抗がある場合には、ビニールテープ等を貼ってその上に油性ペンで記名することをおすすめしています。

☆冬休み中にお願いしたいこと☆

・スキーウェア、手袋など身支度を一人ですることができるようにする。

・スキー靴とスキーが合うか着用して確かめる。

・ウェアを着た状態でスキー靴を履き、金具を止める練習をする。

・外でスキーを履いて平地を歩く。公園やスキー場の山などのゆるやかな斜面を登ったり、滑ったりする。

・スキーやスキー靴をケースから出したり、しまったりする。